

一つの驚きであった。私はカルガリーからロッキーに入り、バンフからジャスパーにぬけ、トンプソン及びスレーザ河を下ってバンクーバーに入り、さらにバンクーバー島を南から北へ、車で旅行した。その間、亜高山地帯の極端に細い樹冠をもつアルパインファーとエンゲルマンズブルース、さらに高山にありながら高い枝下をもち通直な樹幹のロジポールパインの景観から、コロ

ビア地帯でのレッドシーダー、ヘムロックの出現、山岳地帯に入ってから内陸型ダグラスファー、乾燥地帯での準砂漠的な景観とポンデローサパインに驚かされ、さらに沿岸地帯に入ってからダグラスファーとレッドシーダーの巨木群、特徴的なビッグリーフメープルとアービユタスの出現など、めまぐるしく変化していくのを見て、非常に強烈な印象を受けた。(以下次号へつづく)

技術のおたずねにこたえて

【おたずね】エゾマツフローリングの注文を受けました。原板の製材寸法はどのぐらいにしたら良いでしょうか。なお、フローリングの寸法は厚さ15mm、幅75mmです。

(I市, O生)

【おこたえ】仕上がり含水率が10%としますと、エゾマツの含水率1%当たりの収縮率は半径方向(柁目)で約0.15%、切線方向(板目)で約0.3%なので、含水率10%まで最大で6%収縮します。つまり、厚さで4.5mmが最大収縮量です。これに鉋削仕上げの削りしろ各2mmを加えた厚さ17.9mm、幅81.5mmが原板の最小寸法となります。乾燥による狂いを約5%とみると、標準的な原板の寸法は厚さ19mm、幅85mmとなります。 [林産試験場 乾燥科]

◆ほかに次のおたずねがありました。

・トドマツ、スギなどの水食材の発生原因と木材の性質に及ぼす影響を知りたいのですが。

[技術科]

・トドマツ造林木の材質とその将来性をうかがいたい。 [木材部長]

・厚さ6~9cmのニレ、タモ、カバを乾燥していますが、損傷がひどく困っています。対策を教えてください。

・エゾマツまさ目板を含水率10%のフローリング材に仕上げる時、製材寸法をどのように考えて決めればよいでしょうか。

・ラワン材の乾燥スケジュールを教えてください。また、初期含水率が大きく異なる材を乾燥する方法もうかがいたい。

・ラワン材を乾燥したところ乾燥ムラが大きく発生しました。原因と対策を教えてください。

・PEG処理乾燥を行うときの留意点などうかがいたい。

・カラマツ民芸品にPEG処理をして乾燥していますが、処理液が着色して困っています。解決法を教えてください。

・含水率の測定法と含水率計の使用法を教えてください。 [以上乾燥科]

・カバ材で割箸を作っています。蒸煮排液を水質規準内にする処理法とリサイクル使用の可能性

についておたずねしたい。

- 無臭合板の虫害に関連し、ホルムアルデヒドの含有量と虫害の程度の間には何か関係があるのでしょうか。また、防虫処理合板で食器棚など作る時人体に対する毒性が問題になりますか。〔以上接着科〕
- TTK処理による土台の防腐効力についてうかがいたい。〔林産化学部長〕
- 52年に新築した住宅でラワン材を造作材につかった部分にヒラタキクイムシが発生しました。対策を教えてください。
- 家具がヒラタキクイムシに被害されました。虫の駆除法と未被害部の処理方法についてうかがいたい。
- 風倒木について、樹種別に耐朽性の予測を立てることは可能でしょうか。
- ナラの家具を東京方面に納入するのに防虫処理が必要となりました。製品を処理する方法を教えてください。〔以上木材保存科〕
- 数年前新築した自宅でナミダタケが発生しました。どうすればよいのでしょうか。
- 本州ではインサイジング処理を嫌う傾向があると聞きますが、本道ではどうでしょうか。
- 道材ではインサイジングの密度は最低どのくらい必要でしょうか。
- 凍結材をインサイジング処理すると、刃の損傷や打ち込み深さが不十分になるなどの問題が起きます。対策をうかがいたい。
- シナ材の変色防止のために散水処理を行っていますが、材に悪臭がついて困っています。これを防ぐ方法はないのでしょうか。
- 木材の耐久性は立木の伐採時期によって異なりますか。
- 役物の附加価値低下を防ぐ保管方法を教えてください。
- 凍結材を挽材するとノコくずが多く付着して、これがカビ発生の原因となります。防止法はないのでしょうか。
- 防カビ処理液が次第に着色してしまい困っています。防止法を教えてください。

- 吹付法による防カビ処理を行うと作業者に対する薬液の毒性が問題となります。どのような対策を立てたらよいでしょうか。

- CCA処理材に文字を書いたり、塗装したりすることは可能でしょうか。
- 皮付き丸太にCCA防腐剤を加圧注入処理することが出来ますか。このとき樹皮のはく離は起こりませんか。

〔以上林産化学部長、木材保存科〕

- 凍結材の製材方法と上手に挽くための帯ノコの作り方をうかがいたい。〔製材試験科〕

- ナラ、タモ、ニレの各材を原材料とする集成材を本州方面に出荷する予定ですが、現在行っている含水率管理でそれが可能でしょうか。

〔複合材試験科〕

- エゾマツ製材から割箸を作っていますが、ギャングソーによる挽割で約25%がノコくずとなります。ナイフで裁断出来ないでしょうか。

〔合板試験科〕

- カラマツ風害木から木炭を製造しようと思えます。問題点などあれば聞かせて下さい。

〔林産機械科〕

- ストロープマツで割箸を作っていますが折れやすいので何かよい補強方法はないのでしょうか。
- 単板を埋もれ木調に着色する方法を知りたいのですが。

- ニレ材を漂白処理で淡色化する方法を教えてください。

- ブナ偽心材の漂白法をうかがいたい。

- カラマツ材を脱脂乾燥する時の留意点などお聞きしたい。〔以上川上特別研究員〕

- ニレ材を天然乾燥した後、挽割ってみると材内部に白色の変色部がありました。この原因と対策を教えてください。〔技術科、乾燥科、木材保存科、川上特別研究員〕



技術相談をされる時、相談内容について担当科がおわかりにならないときは、窓口の技術科へ申し出て下さい（電話0166—51—1171・内線16）。